

市政懇談会(丹原公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年4月25日(月)19:30~20:50

参加者：41名(市民 24名、職員 17名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
1	・空き家対策について、老朽化しており解体の必要があるが、解体できない空き家は今後どのようにしていくのか。	【市長】 ・老朽危険空き家の除却費用の補助制度を策定しました。除却工事費の4/5以内で上限80万円を補助するというものです。 ・基本的には古民家を活用し都会からの移住を進めたいと考えております。 ・相続人が多く手が着けられない案件については、これから検討していきたいと思っております。	—	・建設部
2	・地域交流センターの設置はどうなっているのか。	【市長】 ・子どもの教育等のソフト面を優先してきましたが、今後地域の声も聞いて、できることから進めたいと思っております。	—	・保健福祉部
3	・以前から市道への無断駐車があるが、防火水槽もあり災害等の際に心配である。駐車禁止等のポールを立てる等、市職員ももっと動いてもらいたい。	【建設部長】 ・現場を確認して、白線で車の流れを作ったり、道路改良ができないか検討したいと思っております。 市職員だけでなく、警察の協力も得て罰金等の対処も検討したいと思っております。	—	・丹原総合支所
4	・西条市も断層があり地震が心配だが、中山川と加茂川の橋が落ちると3つに分断されるため、各拠点に物資の備蓄や災害の拠点を設置してはどうか。特に断層の無い丹原や三芳が良いのではないか。	【市長】 ・専門家のシミュレーションによると、やはり3つに分断されるため、3分割して消防、防災体制を築いていく必要があります。6月議会から予算を組んで考えていきたいと思っております。	—	・市民安全部
5	・基盤整備の要望だが、事業費の負担金を気にかけている地権者が多い。市で負担補助してくれるが、担い手の集積率のハードルが高いため緩和できないか。	【参事官】 ・担い手に対する集積率のため、担い手の設定の仕方等で地域のまとめ方を相談しながらやっていきたいと思っております。また負担は事業終了後のため、地域の状況の変化も踏まえた制度の見直しも検討していきたいと思っております。 【市長】 ・将来的には団地化を図って、担い手が集積して耕作する方向を目指していただきたいと思っております。	—	・農林水産部
6	・市有地を売却しているが、面積と金額を記載してはどうか。	【市長】 ・しっかりやっていきたいと思っております。ありがとうございます。	・現在、看板には「物件番号」「売却予定地の文字」「担当課名」「連絡先」等を掲載しておりますが、ご要望の通り、今後は面積、予定価格等を掲載できる時期が来たら掲載したいと思います。 (※予定価格公表時期は10月1日の予定。) ・看板以外に実施予定の周知方法は、市報5月号(箇所・面積)・10月号(予定価格)、ホームページ、フェイスブックがあり、詳細な情報を掲載することとしております。	・施設管理部